

い支援を目的に設置した「子育て世代包括支援センター」の充実を図ってまいります。

乳幼児健診、5才児健診などにおいては、支援が必要と思われる親子へ寄りそうとともに、子育てに関する情報や活動、支援を包括的に推進してまいります。

母子保健については、新生児訪問など産後ケア等を実施することにより、肉体的・精神的に不安を感じる産婦を早期に発見し、母子等のケアに努めてまいります。

思春期教育については、思春期から性についての正しい知識を身に付け、妊娠・出産を主体的に考える基礎づくりの普及に努めてまいります。

保育園については、待機児童ゼロの実現に向けて島外保育士の経済的負担の軽減や待遇面の改善等による職場定着を図り、保育士不足の解消に取り組むとともに、各種研修を実施し保育の質の向上に努めます。

認定こども園の整備につきましては、「学校適正規模・適正配置」調査研究との整

合性を図り、取り組んでまいります。

児童虐待防止については、町民や関係機関への周知を図るとともに、要保護児童対策地域協議会との連携を強化し、児童虐待防止に努めてまいります。併せてヤングケアラー問題及び子どもの貧困対策にも取り組んでまいります。

町民の健康づくりについては、特定健診に関する取り組みを強化し、受診率向上に努めてまいります。また、生活習慣病の重症化予防に重点を置いた保健活動についても、強化するとともに町民の健康寿命の延伸と医療費の適正化に努めてまいります。

介護予防の取り組みに関しては、高齢者一人一人に対して心身の課題に対応するため、保健事業と介護予防の取り組みを効果的かつ効率的に提供していく体制づくりに努めてまいります。

本町が独自で実施している子ども健康プロジェクトについては、医療機関や学

校と連携し、健康診査、保健指導及び健康教育の充実を図り、よりよい生活習慣の獲得につながるよう取り組んでまいります。

国民健康保険事業の運営につきましては、平成30年度から県が保険者として国保運営に参画し、財政運営の責任主体となっていることから、県と連携を図りながら安定的な保険運営に努めてまいります。

障がい者福祉の推進につきましては、久米島町障害者福祉計画に掲げる、「みんなが共に暮らせる地域づくり」、「住みよい環境と生きがいのある地域づくり」、「自立を支える地域づくり」の3項目を基本目標に施策を展開してまいります。

高齢者福祉の推進につきましては、「自助」、「互助」、「共助」、「公助」について周知を図り、町民・地域・行政がそれぞれの役割を担い、可能な限り住み慣れた島で自分らしく安心した暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進

してまいります。

生活困窮者や地域の要援護者を早期に把握し、自立・就労に向けた様々な支援サービスを社会福祉協議会と連携し、地域社会の中で生活を立て直して、少しずつ自立していきけるよう支援してまいります。

経済的理由や様々な家庭環境による問題を抱えている方々の状況把握に努めるとともに、支援策を検討してまいります。

教育の充実

次代を担う子どもたちの『生きる力』を育み、新しい次代に求められる資質や能力を身につけられるよう、『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』の育成等を図るほか、子どもたちの意欲や時代に対応した教育環境の整備を推進してまいります。

学校教育については、GIGAスクール構想の下で整備された1人1台端末を活用した授業や学習活動を推進し、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な

学び」の一体的な充実を図るため、ICT運用面での支援を継続し、教員のICT活用指導力向上並びに授業改善を図り、教育の充実に努めてまいります。



ICTを活用した授業の様子

久米島の自然、歴史、文化、産業等、地域素材を活用した体験的な学習を積極的に導入し、SDGs実現の担い手育成やキャリア教育の充実により、地域への愛着心やそれらを基盤に他の文化を受容するなど、個性豊かで創造性に富んだ学習活動を推進するとともに、各学校の取り組みを支援してまいります。

学校における教職員等の働き方改革については、「久米島町教職員の働き方改革